

## 戦略2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

計画期間 令和元年度～令和5年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 教育部

### 基本的方向

- 子どもを産み育てる環境を充実させ、「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。
- 子どもが心身ともに健やかに成長していくことができるよう、主体的な「子育て」を支援する環境の整備を進めます。
- 既存の子育て支援政策を効果的に連動させ、利用者のニーズに合わせた支援を実施することで、子育て世代へのサポートを推進します。
- 安心、安全な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。

### 戦略を構成する具体的施策の事業費推移

| 名 称            | 予算額     |    |         |    |       |    |       |    |       |    |
|----------------|---------|----|---------|----|-------|----|-------|----|-------|----|
|                | 令和元年度   |    | 令和2年度   |    | 令和3年度 |    | 令和4年度 |    | 令和5年度 |    |
| (1) 未就学期児童への支援 | 2,859   | 千円 | 31,746  | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |
| (2) 教育内容の充実    | 16,232  | 千円 | 51,900  | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |
| (3) 学齢期児童への支援  | 186,490 | 千円 | 213,844 | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |
| 計              | 205,581 | 千円 | 297,490 | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |       | 千円 |

### 戦略実現に向けての数値目標

#### ◆数値目標(1) 子育て環境が充実していると思う市民割合(単位:%)

| 現状値  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目 標  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 49.7 |       |       |       |       |       | 55.0 |

#### ◆数値目標(2) 教育施策に満足している保護者の割合(単位:%)

| 現状値  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目 標  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 90.6 |       |       |       |       |       | 94.0 |

#### ◆数値目標【基盤】 学校、家庭、地域が子どもたちのために連携が取れていると思う市民割合(単位:%)

| 現状値  | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目 標  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 79.8 |       |       |       |       |       | 82.0 |

#### ◆数値目標【推進機能】 転入前に江別市の子育て支援の取組を知っていた転入者の割合(単位:%)

| 現状値 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 目 標  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 9.9 |       |       |       |       |       | 15.0 |

**具体的施策（１） 未就学期児童への支援**

未就学期の多様な子育てニーズに対応するため、良質な幼児教育や保育を受ける機会を提供するとともに、働きながら安心して子育てができる環境づくりを進めます。

**◆重要業績評価指標（KPI） 待機児童数（単位：人）**

| 現状値 | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 目標 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 96  |       |       |       |       |       | 0  |

＜令和２年度の方針＞

子育て世代の転入増加や女性の就業率の高まり、令和元年１０月から始まった幼児教育・保育の無償化の影響などにより、保育に対するニーズが高まっていることから、第２期子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育の提供体制の充実を図り、待機児童の解消に向けた取り組みを進めることにより、就労と子育ての両立ができる環境づくりを推進していきます。

このため、教育・保育施設の開設や運営への支援等により待機児童の解消対策を進めます。待機児童解消のためには、保育士等の人材確保が必要なことから、保育士等人材バンクの利用促進を継続するほか、保育士等への奨学金返済支援や宿舍借上支援を行う事業者に対する助成、保育施設見学バスツアーの実施など、保育士等の人材を確保する支援を行い、安心して保育サービスが利用できる体制の整備に努めます。

また、少子化や核家族化や地域のつながりの希薄化などにより妊産婦・子育て世代の孤立化が進み、不安感や負担感が高まっていることから、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を推進していきます。

このため、相談のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターの運営や妊娠期から子育て期の情報提供を行うことにより、安心して妊娠・出産・子育てができる支援体制の整備に努めます。

＜課題＞

- 年度途中からでも待機することなく保育園等に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応
- 保育の質の向上と保育人材の確保
- 妊娠・出産に係る相談窓口の明確化
- 核家族化、高齢出産等による産後のサポート不足による産後うつなどメンタルヘルスへの対応
- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築

＜取組の概要＞

- ・待機児童解消の促進（教育・保育施設開設、運営への支援）
- ・保育士等の奨学金返済等に対する助成や子育て支援員研修の実施、保育士等人材バンクの利用促進による保育人材の確保
- ・良質な幼児教育や保育を受ける機会の提供
- ・子育て世代包括支援センターの運営
- ・母子手帳交付時の妊婦面接・支援プランの作成
- ・産婦健診、産後ケア、巡回型親子健康相談の実施

| 事務事業        | 成果指標                  | 令和元年度     | 令和２年度     | 令和３年度 | 備考 |
|-------------|-----------------------|-----------|-----------|-------|----|
| 待機児童解消対策事業  | 待機児童数(4月1日現在)         | 88 人      | 120 人     | 人     |    |
|             | 事業費                   | 2,859 千円  | 18,149 千円 | 千円    |    |
| 子育て世代包括支援事業 | 妊娠期支援プラン作成率           | 65.1 %    | 100.0 %   |       |    |
|             | 子育て環境が充実していると思う保護者の割合 | 51.0 %    | 52.0 %    |       |    |
|             | 事業費                   | 13,373 千円 | 13,597 千円 | 千円    |    |

**具体的施策（２） 教育内容の充実**

子どもたちが変化の激しい社会の中で生きていく力を身に付けるため、一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな教育が受けられるようにします。  
また、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援が受けられるようにします。

**◆重要業績評価指標（KPI） 「生きる力」が身についた児童・生徒の割合（単位：件）**

| 現状値  | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 目標   |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 80.7 |       |       |       |       |       | 82.0 |

＜令和２年度の方針＞

子どもたちが変化の激しい時代を心豊かにたくましく生きぬく「生きる力」を身に付けるため、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」「郷土愛」の育成に取り組みます。  
児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着を図るため、引き続き全小中学校に学習サポート教員を派遣し、チーム・ティーチングや少人数指導などのきめ細やかな学習指導に取り組みます。また、小学校全学年で外国語教育を継続するとともに、全小中学校に外国語指導助手を派遣し、外国語教育を推進していきます。  
さらに、不登校やいじめ等の課題を抱える児童生徒や保護者等を対象に、スクールソーシャルワーカーを派遣し、関係機関と連携して問題解消に向かう支援を行うほか、医療的ケアを必要とする児童生徒に、学校に配置している看護師が支援を行う際には安全かつ適正に医療的ケアを行います。

＜課題＞

- 児童生徒の学力の向上
- 小学校の外国語教育の充実
- 不登校やいじめ等の課題を抱える児童生徒の解消
- 医療的ケアの安全かつ適正な実施

＜取組の概要＞

- ・全小中学校へ学習サポート教員派遣の実施
- ・全中学校で放課後の補足的学習を実施
- ・小学校全学年で外国語教育を実施
- ・スクールソーシャルワーカーを学校に派遣し、家庭や関係機関との連携を推進
- ・医療的ケア児支援に係る校内体制及び学校看護師の研修機会の充実

| 事務事業            | 成果指標                           | 令和元年度    | 令和２年度    | 令和３年度 | 備考 |
|-----------------|--------------------------------|----------|----------|-------|----|
| 小中学校外国語教育支援事業   | 外国語指導助手との外国語の授業を楽しいと考える児童生徒の割合 | 83 %     | 84 %     | %     |    |
|                 | 事業費                            | 34,929千円 | 34,953千円 | 千円    |    |
| 小中学校学習サポート事業    | 学習サポート教員の年間派遣回数                | 3,470回   | 3,470回   | 回     |    |
|                 | 学校支援地域ボランティアの年間派遣回数            | 421回     | 459回     | 回     |    |
|                 | 事業費                            | 8,939千円  | 9,223千円  | 千円    |    |
| スクールソーシャルワーカー事業 | 支援ケース件数                        | 136件     | 136件     | 件     |    |
|                 | 事業費                            | 6,833千円  | 7,459千円  | 千円    |    |
| 医療的ケア児支援事業      | 学校において医療的ケアを実施した人数             | 0人       | 0人       | 人     |    |
|                 | 学校における医療的ケア児の受入れ可能人数           | 2人       | 2人       | 人     |    |
|                 | 事業費                            | 811千円    | 265千円    | 千円    |    |

**具体的施策（３） 学齢期児童への支援**

学齢期の健やかな成長を助長するため、児童の自主性を尊重した運営や地域の人たちとの交流等の放課後活動を推進します。  
 また、児童が放課後を安心、安全に過ごすことができ、保護者が就業と子育てを両立できる放課後対策の推進に努めます。

**◆重要業績評価指標（KPI） 放課後児童クラブ入会児童数（単位：人）**

| 現状値 | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 目標    |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 776 |       |       |       |       |       | 1,270 |

<令和２年度の方針>

子育て世代の転入増加や女性の就業率の高まり、令和元年１０月から始まった幼児教育・保育の無償化の影響などにより、今後も放課後児童クラブの利用希望は増加が続くものと推測していることから、第２期子ども・子育て支援事業計画に基づき、放課後児童クラブの量的、質的充実を図り、就労と子育ての両立ができる環境づくりを推進していきます。  
 このため、児童が放課後を安心、安全に過ごすことができるよう、小学校区ごとのニーズ量を的確に把握し、施設整備に関する補助などにより、放課後児童クラブの新規開設や定員拡大に努めます。

<課題>

- 放課後児童の安心・安全の確保
- 放課後児童クラブにおける提供体制の確保
- 放課後児童クラブ運営状況の平準化

<取組の概要>

- ・小学校区ごとの放課後児童クラブのニーズを把握し、必要な提供体制を確保
- ・待機児童を対象としたランドセル来館の実施
- ・小学校の余裕教室等を活用した放課後児童クラブ提供体制確保の検討

| 事務事業           | 成果指標                   | 令和元年度      | 令和２年度      | 令和３年度 | 備考 |
|----------------|------------------------|------------|------------|-------|----|
| 放課後児童クラブ運営事業   | 公設民営の放課後児童クラブに登録のある児童数 | 63 人       | 64 人       | 人     |    |
|                | 事業費                    | 14,974 千円  | 16,146 千円  | 千円    |    |
| 放課後児童クラブ運営費補助金 | 民間放課後児童クラブに入会した児童数     | 617 人      | 711 人      | 人     |    |
|                | 事業費                    | 114,669 千円 | 135,134 千円 | 千円    |    |
| 児童館地域交流推進事業    | 対象者1人当たりの年平均利用日数       | 3.1 日      | 3.1 日      | 日     |    |
|                | 行事・イベントに参加するボランティアの人数  | 70 人       | 70 人       | 人     |    |
|                | 事業費                    | 56,847 千円  | 62,564 千円  | 千円    |    |